

3月23日(金)午前、平成29年度修了式と離任式が行われました。

整列した生徒たち、2年生は、すでに最終学年への覚悟が表情に表れ、凜々しく頼もしい限りです。1年生は、いつの間にかたくましい高校生の表情に、ずいぶん素晴らしく成長しました。教頭、事務長と式が始まるまでの間つくづく語り合いました。

校長あいさつでは、「守 破 離」をそれぞれの上級学年への目標として念頭に置くこと、また、今春に卒業した先輩たちが進路実績において飛躍を遂げたことを報告しながら、この上昇機運を継続発展させてほしいと話しました。

今年は、私を含め23名の教職員が異動となります。離任式では、生徒職員の手拍子に合わせて、生徒会のアーチをくぐって入場登壇です。教頭先生から、それぞれの氏名と赴任先が紹介され、異動者のあいさつに移りました。

私は、「①君たちの挨拶と笑顔で、幾度となく訪れた辛い悩みと不安から救われた。②君たちの、何事にもひたむきに努力する姿に接し、希望を実感できた。③君たちの、品格と節度ある生活態度に一日をより良く生きることの大切さを学んだ。皆さんに入学を許可した者として誇りに思うし、感謝しています。ありがとう!! 進級に際して、さらなる活躍と飛躍を望みます。」と閉めました。



涙あり笑いあり、それぞれの先生方の数年間の思いがあふれた素晴らしい時間でした。先生方のこの情熱、教育愛は、今では地域の名物になった？

道路沿いフェンスの横断幕58本!!が象徴しています。

この2年間、素晴らしい生徒たち、同僚職員、育友会（PTA）、同窓会そして地域に支えられ、新任校長としてG高で過ごすことができたことを心から感謝するとともに、私自身様々な経験をとおして、成長することができたことを実感しております。

最後になりますが、G高のますますの発展とともに、関係各位のご活躍、ご健康をご祈念申し上げ校長便りを擲筆いたします。



渡久山 英雅